

令和4年3月新規高等学校卒業予定者の就職内定状況 (令和3年10月末現在)に関する調査について

<調査の概要>

- 本調査は、高校生の就職問題に適切に対処するための参考資料を得るために、来春の高等学校卒業予定者で就職を希望する者の就職内定状況を10月末現在、12月末現在、3月末現在の状況を調査しており、今回は、10月末現在で取りまとめたものである。
- 本調査は昭和51年度から実施しており、調査方法は、国立については該当国立大学法人、公立については各都道府県教育委員会、私立については各都道府県知事部局を通じて行った悉皆調査である。
- 厚生労働省も高校生の就職内定状況について類似の調査を行っているが、これは学校及び公共職業安定所を通して求職している者のみを調査対象としている。一方、本調査は、就職を希望する者全員を対象としており、公務員や自営業者を含み母集団が大きい。

前年の令和3年3月の新卒者は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、就職に関する選考・内定開始期日などに変更があったことを踏まえ、調査時点を1か月後ろ倒しし、11月末に変更して取りまとめています。
このため、前年11月比(差)は参考値となります。

<調査内容>

1. 調査対象 国立、公立、私立の高等学校(全日制・定時制)
2. 調査項目 学科別(国立、公立、私立の別)の就職内定状況
都道府県別(県内・県外別)の就職内定状況

<結果の概要>

1. 就希望者数・就職内定者数等

卒業予定者	1,001,111人	(前年11月)	1,019,866人
就職希望者	148,761人	(前年11月)	162,195人
うち就職内定者	111,788人	(前年11月)	130,435人
うち未内定者	36,973人	(前年11月)	31,760人

2. 就職内定率(就職希望者に対する就職内定者の割合)

75.1%(前年11月比 5.3ポイント減)

○男女別

男子 76.3%(前年11月比 6.0ポイント減)

女子 73.2%(前年11月比 4.1ポイント減)

○学科別(内定率が高い順)

工業 87.4%、看護 83.6%、商業 80.0%、福祉 78.2%、

農業 76.9%、水産 76.3%、家庭 75.3%、

情報 74.8%、総合学科 73.9%、普通 61.6%

※「その他」の学科は除く。

※「看護」に関する学科は看護師5年一貫課程が主となるため、5年課程5年次の就職内定率を示している。

○都道府県別

内定率の高い県：富山県 88.2%、三重県 87.2%、愛知県 86.5%、
岐阜県 85.5%、石川県 83.6%、山口県 83.3%、

内定率の低い県：沖縄県 47.7%、北海道 57.4%、高知県 62.4%、
神奈川県 62.5%、千葉県 65.4%

○東日本大震災における被害が甚大な3県

岩手県 79.5%(前年11月比5.4ポイント減)

宮城県 69.8%(前年11月比2.8ポイント減)

福島県 80.3%(前年11月比5.3ポイント減)